

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名：和歌山市立城東中学校

授業の概要		
授業日時・学年・教科・単元名等		
授業日時：平成25年 6 月 21 日 5時間目		
学年： 1年 教科： 英語		
単元名： Unit4 楽しい昼休み		
ICT支援員によるサポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業中 <input type="checkbox"/> 事前		
単元・題材の目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・ What is...?の文とその応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ・ be動詞＋補語（形容詞）の肯定文と否定文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ・ What do you...?の文とその応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。 		
単元全体の流れ		
指導内容	配当時間	
○あるものを見て、それが何であるかをたずねたり、答えたりする。 ○What is...?の文とその応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。	1時間	
○好きな教科について、相手にたずねたり、答えたりする。 ○be動詞＋補語（形容詞）の肯定文と否定文の形・意味・用法を理解し、表現できる。	2時間	
○毎日の朝食について相手にたずねたり、答えたりできる。 ○What do you...?の文とその応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。	2時間 (本時 1/2)	
本時の中心となる授業形態		
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習		
本時の目標（評価の観点）		
・ 毎日の朝食について相手にたずねたり、答えたりできる。		
情報通信技術の活用		
活用した場面		
<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
活用した者		
<input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒		
活用する目的		
<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 興味・関心の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 目的や目当ての明確化 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 生徒による説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 典型例の提示 <input type="checkbox"/> 創作活動 <input type="checkbox"/> 失敗例の振り返り <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 生徒同士の教え合い <input checked="" type="checkbox"/> その他（発音練習）		
活用したコンテンツ		
デジタル教科書教師用・生徒用		
活用した機器		
<input checked="" type="checkbox"/> IWB <input checked="" type="checkbox"/> タブレットPC <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他（ ）		

※情報通信技術の活用のうち、本時におけるポイントとなる活用について主なものを回答すること。

1. 本時の展開

学習の流れと子どもの活動	指導・支援のポイント	使用した機器やコンテンツ
1. 前時の復習 ・ペアになり、役割音読をする。 ・フラッシュカードで単語の復習をする。 ・全体で本文の音読をする。	フラッシュカードの設定パターンを変えたり、マスク機能 ・速度設定変えることで活動の難易度を調整しながら全体で何度も練習する。	デジタル教科書 教師用
2. デジタル教科書教師用のMovie「Breakfast around the world」を見る。	英語音声・英語字幕で見せる	デジタル教科書 教師用
3. 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 朝食に何を食べるかをたずねたり、答えたりできるようになる。 </div>		
4. 本文の内容理解 絵と音声で本文の内容を理解させる。	ピクチャーカードを使って音声を聞かせ、イチローとベッキーが朝食に何を食べるかを確認する。	デジタル教科書 教師用
5. 新出語句の確認 意味や使い方を確認したうえで、発音練習をする。	フラッシュカードを使い、1語ずつ意味を確認した後、全体で練習する。	デジタル教科書 教師用
6. 基本文の導入 朝食に何を食べるかをたずねる文・答える文を確認する。	生徒と問答をしながら練習させる。	デジタル教科書 教師用
7. デジタル教科書生徒用を使って、本時の基本文を再度確認し、音声を聞きながら練習する。	マーカーで疑問文と答えに線を引かせる。 マーカーを引きやすいように拡大機能を使わせる。 usually や sometimes など頻度をあらかず単語を別の色のマーカーで線を引かせて意識させる。	デジタル教科書 生徒用
8. まとめ ・クラスの生徒と英語で朝食に何を食べるかを英語で質問し合う。 ・本時の目標が達成できたかを確認する。	できるようになったことを振り返りながら生徒に達成感・満足感を感じさせる。	

＜協働学習の実施状況＞

- 生徒が相互に教え合う場面があった 数名が一緒に学び合う場面があった
 数名が協力したり助け合ったりする場面があった 数名が話し合う場面があった
 一人が発表したことについて学級全体で考える場面があった
 同じ問題について、学級全体で話し合う場面があった
 ネットワークを使って遠隔地と結んで学ぶ場面があった

2. 情報通信技術の活用のねらいと効果

(1) 活用のねらい

デジタル教科書生徒用

- ・本時の目標である朝食に何を食べるかをたずねる文や答える文を意識させるためにデジタル教科書にマーカーで線を引かせ、発音練習させる。
- ・usually, sometimesなど頻度を表す難しい単語に注目させ、発音練習させる。

(2) 活用により期待される効果

- ・紙の教科書では線を引くだけしかできないが、デジタル教科書を使うと音声聞くことができるので、聞く、話す練習ができる。
- ・全体指導で色を変えてマーカーを引かせることで、単語の分類なども意識させて教えることができる。

3. 実践上の課題

- ・ワーク画面を生徒に使わせたかったが、ワーク画面でマーカーを使うと不具合があり、教科書見開き画面でしか使うことができなかった。ワーク画面で使えるように改善が必要である。
- ・ワーク画面で、教師用と同様に、生徒用でも本文の日本語訳が出るようにできると、生徒の理解をもっと助けることができる。

※本報告は、2頁を超えて作成しても構わない。

※本報告とあわせて、授業の動画や写真を提出する際は、Webでの公開など広く使用されることも考えられることから、保護者の了解を得るなど必要な対応を行うこと。